

取組名称：四国防災・危機管理特別プログラム共同開設による専門家の養成
取組大学：香川大学（代表校）徳島大学

本事業は、東日本大震災を踏まえて、大規模広域災害やグローバル化する危機に対して適切に対応できる専門家を養成する取組です。

東南海・南海地震が想定される中、香川大学と徳島大学は、「防災士養成講座」や「建設業BCP策定支援」等の連携実績、成果を活用して、香川県と徳島県の協力の下に新たな特別教育プログラムを開設し、社会が必要とする実践力を備えた防災・危機管理の専門家を養成します。

（取組のポイント・図表）

災害時、特に必要とされる次の3タイプの専門家を養成します。

○学校防災・危機管理マネージャー

地域コミュニティと連携して、学校・地域の防災教育、学校の事業継続計画(BCP)策定、児童・生徒の安全・安心を守る指導者

○行政・企業防災・危機管理マネージャー

地域社会を構成する自治体・企業・地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャー

○救急救命・災害医療・公衆衛生対応コーディネータ

被災住民の視点に立って、災害時医療、医療機関のBCP策定、公衆衛生対策、メンタルヘルスサポート体制をコーディネートできる人材

